１１月は児童虐待防止推進月間です

コロナ渦で、児童虐待は全国的に深刻化しています。全国の児童相談所が２０２１年度に対応した子どもへの虐待相談は過去最多の２０万７６５９件（速報値）でした。３１年連続で増え続け、前年度と比べて1.3％（２６１５件）多く、２年連続で２０万件を超えました。内容別にみると、心理的虐待が最多の60.1％（12万4722件）。身体的虐待が23.7％（４万９２３８件）、ネグレクト（育児放棄）15.1％（３万1452件）。相談が寄せられた経路別では、「警察など」が49.7％。次いで「近隣・知人」の13.5％、「家族・親戚」の８.4％でした。「児童本人」は１.２％に過ぎません。一方、厚労省の専門委員会によると、２020年度に虐待を受けて死亡した子どもは全国で77人でした。前年度より１人減でした。

虐待は単に親の身勝手な行為であると捉えがちですが、その背景には経済的な不安やストレス、社会的な孤独など、さまざまな問題が潜んでいます。決して特別な家庭におきているのではなく、誰もが陥る危険性があります。虐待は、そうした悩み苦しみを抱えた親からのＳＯＳでもあるのです。

毎日がんばるお母さん・お父さんへ

子育ては、いつの時代でも大変なことです

進化した家電機器や性能の高い紙おむつなど、昔に比べたら物理的にも便利になりました。しかし、親が親として成長していく大変さは同じです。現代は、少子化による子育ての環境の劣化やサポートも少なくなり、多くの母親がたった一人で育児をしているという辛さがあると思います。

子どもが少ない！

子育てに対する環境の劣化や周囲の目が厳しい

- ●出産するまで乳幼児と接した経験がなく、すべてが初めての子育て
- ●子連れだと外出先で肩身が狭い（公共交通機関内、飲食店など）
- ●何かあると親のしつけや養育態度を指摘される
- ●少子高齢化、コロナ禍で子どもの将来の不安や経済的な心配が多い

サポーターがいない！

不安や大きな責任に悩みながら子育てに一人で向き合う

- ●職場状況や、長時間労働でパートナーが子育てに不参加
- ●実家や親戚が遠く、居住地域の知人・友人も少ない
- ●発達の遅れなど不安を、気軽に相談できる人がいない
- ●子育てが大変だということを理解してくれる人がいない

子育て毎日お疲れさまです

日々の育児、家事など奮闘しているあなたを「わたしはよくやっているわ」とがんばりを認め、自分をほめてください。

子育ては大変なこともあるけれど、すてきな時間や新しい発見もいっぱいです。いろいろな人の助けを借りて楽しみながら子育てをしましょう。

困ったときは　子育て相談機関を利用しましょう！

あなたの気持ちをわかってくれる人たちがいます

子育てに対する不安や、仕事と育児の両立についてなど、心配ごとや悩みをかかえていませんか？不安や悩みを抱えたまま育児をしていると、気づかないうちに子どもを傷つける言動をとってしまうことがあります。少しでも心配や困っていることがあれば、ひとりで抱え込まず、早めに相談しましょう。周囲に助けを求めることは、決して恥ずかしいことではありません。誰かに話すだけで気持ちが楽になったり、自分では気づかなかった解決のヒントがみつかることもあります。

- ●児童相談所専門チャンネル　☎０１２０－１８９－２３１４
- ●児童相談センター☎4152（よいこに）　電話相談　☎０３－３３６６－４１５２
- ●子ども家庭支援センター（郷）　☎２－２３９８

子育てやしつけ、出産など福祉全般にかかわる悩みや不安を抱える方への支援を行っています。
※相談は匿名で行うこともでき、相談した人やその内容に関する秘密は守られます。

- ●DV相談＋（一般社団法人社会的包摂サポートセンター）　☎０１２０－２７９－８８９

あなたや子どもが受けている暴力（DV）について、専門の相談員に２４時間相談が可能です。

みんなで見守ろう！地域の子育て　気づいてください！親と子のＳＯＳサイン

児童虐待とは、保護者（親、または親に代わる養育者）によって子どもに加えられた行為で身体的虐待・性的虐待・心理的虐待・ネグレクト（養育の放置または怠慢）に分類されますが、ほとんどの場合重複して起こっています。児童虐待はどの家庭でも起こり得ることですが、みなさんのちょっとした「気づきや」や「心配り」で深刻化を防ぐことができます。

地域のみんなで家族を見守りましょう

虐待を防ぐためには、地域全体で子育て家族を温かく見守り、支えていくことが大切です。さりげなく声をかける、困っていたら手助けするなど、あなたのちょっとした優しさや心遣いが、大きな励みとなるのです。
あいさつだけでも構いません。優しくひと声かけてください。

「もしかして虐待？！」と思ったら、迷わず相談・通告を！

厚労省の報告によると、子どもの虐待の相談件数は年々増加しています。子どもは自ら「助けて」とはなかなか言えません。子どもたちのＳＯＳに大人が気づいてあげることが必要なのです。あなたの気づきが子どもたちの笑顔を守ります。

児童虐待防止法により、虐待を受けたと思われる児童を発見した場合に市区町村や児童相談所などに通報することが義務づけられています。

「もしかして虐待では？」と思っても、確証が持てず相談・通報をためらってはいませんか？
迷っている間にも、子どもたちが虐待で苦しんでいるかもしれません。

- 児童相談所虐待対応ダイヤル　☎１８９（いち・はや・く）
- 東京都児童相談センター　☎０３－５９３７－２３１４
- 全国子育て・虐待防止ホットライン　☎０５７０－０１１－０７７

「おやっ？」と思ったら、子ども家庭支援センターに心配な思いを伝えてください！
子ども、保護者の支援に繋がります！

～ひろば～　１０月の窓から

リサイクル交換

エコクラフトで作ろう週間

ステキなバックができました！

ちょっと暑かったけど、みんなで運動会を楽しみました！

３年ぶりにみんなでハイチーズ♡

ミニ講座「気持ちが楽になるお話」

老人クラブの方々にお庭や駐車場の草取りをしていただきました。ありがとうございました。😊

大島町子ども家庭支援センター　　**通信258号**（2022 年 10 月発行）

わ～わ・くらぶ

子ども家庭支援センターは、妊娠期～１８歳までの子どもと家庭の総合相談の窓口です。子ども本人、保護者、子どもに関わる方、どなたでも相談できます。子育てについて、困っている事や悩んでいることがあれば、どんなことでもお気軽に相談して下さい。

子育て交流ひろば

○乳幼児親子の出会いの場、ゆっくり過ごせる場所です
○子育ての情報交換や仲間づくり
○子育ての講座や行事
○子どもと家庭の相談も随時、お声かけください
○授乳やおむつ替えが出来るスペースがあります

利用時間　月曜日～土曜日（祝日を除く）
　　９：３０～１６：００
所在地　　大島町野増字大宮
　　野増地域センター内
電話　　０４９９２－２－２３８１
E-mail c050701@town.tokyo-oshima.lg.jp

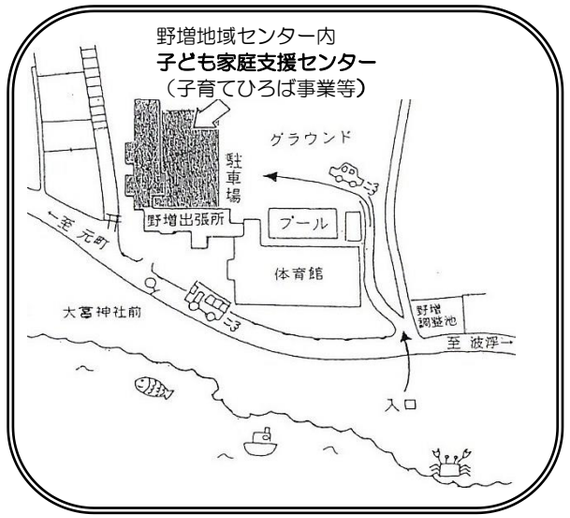
子どもと家庭の相談

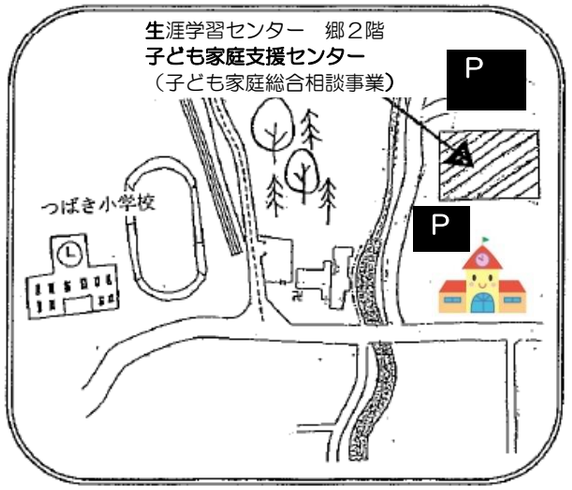
・育児の仕方や子どもとの関わり
・子育ての悩みや家事の事・子どもの発達や行動
・保護者の気持ち　・療育にお困りの時
・子育ての支援についての情報提供
＊相談内容により、他の機関などをご案内する場合もあります。

虐待に関する相談

虐待に気づいたら、虐待が疑われる場合は速やかに連絡相談をしてください。連絡、相談された方が特定されないよう秘密は守ります。

利用時間　月曜日～金曜日（祝日を除く）
　　９：００～１７：００
所在地　　大島町元町字丸塚５４８－１
　　大島町生涯学習センター・郷２階
電話　　０４９９２－２－２３９８
E-mail c050701@town.tokyo-oshima.lg.jp





10月の予定

日	月	火	水	木	金	土
歳時記：木々は色づき、今年最後の華やかさに。７日の立冬から歴の上ではもう冬。冬の気配が徐々に増し温かいものが恋しくなる季節。空気が乾燥してくるので手洗いうがいでより一層の感染症対策を！		1	2 身長体重計測日 9:30～	3 文化の日	4	5
6	7	8 親子スポット 10:30～	9	10	11 ミニ講座 10:30～	12
13 わかば相談	14 わかば相談	15	16 身長体重計測日 9:30～	17 ミニ講座 10:30～	18	19 ポンポンで作ろう週間終
20	21 クリスマスグッズ作り週間始	22	23 勤労感謝の日	24	25	26
27	28	29 ベビークラス 10:30～	30	「いいね！」 シンプルな言葉ですが、大人もＳＮＳで「いいね！」をたくさんもらえると嬉しいものです。いつもおおげさにほめる必要はありません。あまりかまえず、こどもに「いいね！」と言ってみましょう。		

～１９（土）ポンポンで作ろう週間
毛糸でポンポンを作っていろんなものを作ってみましょう！

２日・１６日（水）身長・体重計測日　９：３０～１２：００
身長・体重を計測したり、育児の相談等にも応じます。

８日（火）親子スポット「焼き芋会」１０：３０～
老人クラブの方がお芋を焼いてくれます。みんなでホクホクの焼き芋を食べましょう。

１１日（金）ミニ講座「三原山の話」１０：３０～　山田三正氏
山田三正先生に、三原山について色々教えていただきます。

１３・１４日（日・月）わかば相談　　臨床心理士　今村泰洋さん
悩みや困ったことを相談してみませんか。ご希望の方はお早めに（２－２３９８）ご連絡下さい。
生涯学習センター・郷相談室にて行います。

１７日（木）ミニ講座「食育」　大島町　栄養士　１０：３０～
大島の郷土料理の作り方を教えていただきます。試食もあります。
コロナウイルス対策のため、参加人数を１５組とします。参加希望の方は当センターにて予約をお願いします。人数がそろい次第受付終了となりますのでご了承ください。

２１日（月）～１２/２４（土）クリスマスグッズ作り週間
自然物などを利用してクリスマスグッズ作りを楽しみましょう。

２９日（火）ベビークラス　大島町　栄養士　１０：３０～
離乳食やご家族の食事について「Ｑ＆Ａ」など。一緒にお話しましょう。身体計測もできます。

皆さんにひろばで遊んで頂く為に以下のご協力をお願いします。
●利用当日、親子で体温を計測してください。 発熱（３７，５℃以上）以外に、咳・鼻水・下痢・嘔吐などの体調不良、食欲がない・機嫌が悪いなど、いつもと異なった様子の時は利用をご遠慮ください。
●解熱後２４時間以上が経過し、その他の症状が改善傾向となるまでは、同様の対応をお願いします。併せて、同居家族に発熱や呼吸器症状等の風邪症状がある場合は、利用を控えていただくようご協力をお願いします。
●大人はマスクの着用をお願いします。
●玄関で必ず手の消毒をしてください。受付時に来所者全ての方に検温を実施します。
●帰り際、使ったおもちゃは使用済みおもちゃ用のかごの中に入れるようにしましょう。
※新型コロナウイルス感染状況により、子育てひろば開放、催しなど、急遽中止・変更となる場合もありますので、ご了承ください。